

基本計画5 観光の振興

現状と課題

本市は、灯台の聖母トラピスト修道院や国指定史跡松前藩戸切地陣屋跡、眼下に南北海道一の絶景が広がるきじひき高原など、多くの観光資源を有しており、また、自然豊かな大地と海からとれる豊富で新鮮な食資源にも恵まれた地域です。

観光は、宿泊、運輸、飲食、小売業など、さまざまな分野で大きな経済効果が期待できる裾野の広い総合産業であり、本市では、「北斗市観光振興プラン」(平成24年3月策定)に基づき「きじひき高原の整備活用」、「桜回廊構想の推進」、「体験型観光の推進」、「スポーツ合宿の誘致」を4本柱に掲げ、魅力ある観光地づくりを積極的に進め、また、北海道新幹線開業を契機として、交流人口の拡大に努めてきました。

このような中、近年の旅行動向は、個人の価値観やライフスタイルの変化により、従来の団体旅行だけでなく、個人の好みや、関心にあわせた少人数での旅行にも対応した観光振興策が必要となっています。

また、新函館北斗駅を有する立地特性から、広域観光圏の拠点として、近隣市町と連携した誘客促進、国内外に通用する観光地づくりを推進していくことが求められています。

■観光入込客数の推移

単位:千人

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入込客総数	693.3	718.6	971.0	1,058.8	1,237.7
うち宿泊客数	23.2	31.9	29.9	24.5	28.4

■月別観光入込客数

単位:千人

区分	平成27年度	平成28年度	対前年度比
4月	88.0	109.5	124.4%
5月	220.1	275.8	125.3%
6月	96.9	110.8	114.3%
7月	119.6	140.3	117.3%
8月	133.4	156.3	117.2%
9月	108.6	126.6	116.6%
10月	56.0	95.2	170.0%
11月	48.0	48.2	100.4%
12月	35.3	45.8	129.7%
1月	45.5	43.5	95.6%
2月	30.8	36.6	118.8%
3月	76.6	49.1	64.1%

■スポーツ合宿受入数の推移

単位:団体、人

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
団体数	37	47	54	59	45
延べ宿泊者数	2,974	4,160	3,696	4,649	3,666

成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	観光入込客数	106万人	
2	市内宿泊者数	3万人	
3	スポーツ合宿誘致団体数	45団体	

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 1 現状値は、平成27年度渡島管内観光入込客数調査の集計結果。
- 2 現状値は、平成27年度渡島管内観光入込客数調査の集計結果。
- 3 現状値は、市外のスポーツ団体が市内宿泊施設及びスポーツ施設を利用したスポーツ合宿実施団体数。

主要施策

1 観光資源の充実及び周遊観光の推進

- ① きじひき高原や桜の名所、灯台の聖母トラピスト修道院、道南いさりび鉄道など、地域資源を活かした魅力ある観光地づくり、環境整備をより一層推進します。
- ② 新函館北斗駅を拠点として、きじひき高原から松前藩戸切地陣屋跡、灯台の聖母トラピスト修道院を結ぶ周遊ルートをはじめ、新鮮な地元産品を扱う飲食店、農協・漁協直営店など、地域資源を活かした周遊観光ルートの多様化に努めます。
- ③ 観光協会や関係団体等と連携して、豊富で新鮮な食資源や四季が明確な自然環境を活かし、体験型、滞在型、通年型観光の確立と商品化に努めます。

【関連主要施策】 P45 主要施策3 水産物の消費と販路の拡大 ①③
P97 主要施策2 鉄道交通の確保と利用促進 ②

2 誘致宣伝の強化

- ① インターネットや各種メディアなど、多種多様な媒体を通じ、効果的で魅力ある情報発信に努めます。
- ② 首都圏や北海道新幹線沿線地域からの集客促進を図るため、当該地域における観光プロモーション活動を推進します。
- ③ 旅行会社や公共交通事業者など関係機関に対し、多様な観光ニーズに対応した旅行商品の造成、販売を働きかけます。

3 観光客受入体制の充実

- ① 観光客目線を重視し、観光ニーズに対応した適切な情報を提供するため、観光案内所やきじひき高原パノラマ展望台など、観光客受入体制の充実を図ります。
- ② 観光案内所等での多言語対応や観光案内板の整備など、国内外の観光客の受入環境整備に努めます。
- ③ 体験型観光をはじめ、着地型観光の担い手となる観光協会の体制強化とともに、観光関連事業者や案内人材の育成、おもてなし意識の醸成など、温かみのある受入体制づくりを支援します。

4 多様な交流の推進

- ① 市内スポーツ施設を活かしたスポーツ合宿誘致を推進し、交流人口の拡大と併せて、トップアスリートなどとの交流により市内児童生徒やスポーツ愛好家の技術力、競技力の向上に努めます。
- ② 市内観光地や自然景観を活かした映画やドラマ、コマーシャルなどのロケーション誘致を推進し、交流人口の拡大を図るとともに、制作された映像を通じ本市の魅力を全国に発信します。
- ③ 東京北斗会をはじめ、ふるさと出身者など、本市に縁のある方々への情報発信と連携強化により交流支援人材の育成に努めます。
- ④ 北海道新幹線開業を契機とした新幹線駅所在自治体や沿線自治体等との都市間交流を推進します。

【関連主要施策】 P73 主要施策3 市民皆スポーツの実践 ③
P93 主要施策1 公園整備の推進 ①
P119 主要施策3 交流人口の拡大と移住・定住の促進 ①

5 広域観光の推進

- ① わが国有数の国際観光都市である函館市をはじめ、美しい自然や歴史とロマンあふれる南北海道エリアへの玄関口となる新函館北斗駅併設の観光交流センターの機能充実を図ります。
- ② 広域連携組織や近隣自治体、交通事業者などとの連携により、周遊観光ルートの構築や冬季のイベント企画、旅行商品化を促進します。